



美しく手入れされた境内を拝見しながら、「折角だから」と、琵琶茶と美しい花の形の器に入ったお菓子(300円)をいただく。琵琶茶は、非常にすっきりしたお味で、美味しかった😊
今日は、ピーカンのお天気ではないのに、湿度が少し高めなのか、ここまで散策してきて暑くて少し汗をかいていたので、熱いお茶と甘いお菓子はありがたい。

後半の方々が拝観を終えられるまで、庫裏にて他の方々とおしゃべりしつつ、ゆったりした時間を過ごせて、一息つくことができました。

帰宅後、ネットで調べてみると、ご住職のお人柄に誘われて、何度も訪れる方が多くいらっしゃるそう。

ご住職、お寺の方々、そして、茉莉花の花々に見送られて、次の崇道天皇社へ。

⑨崇道天皇社

こちらは、皇太弟でありながら、兄の桓武天皇により、藤原種継暗殺の疑いをかけられ、淡路島への配流の途中で、断食をして無実を訴え、息絶えたとされる早良親王(死後、「崇道天皇」の称号を追称)の死後、様々な災いが次々と起こったことから、魂を鎮めるためにお祀りされているとのこと。

⑩徳融寺

大変和やかな楽しい昼食を経て、徳融寺の見学へ。

立派な山門をくぐり、参道を通って境内に入ると、右手に立派な鐘楼、そして左手に観音堂、正面には本堂があり、街中の喧騒が聞こえてきているはずなのに、他の観光客も無く、静かな落ち着いた佇まいを見せている。

境内には、中将姫が継母に折檻されたという雪責松があり、また、中条姫が継母に突き落とされたところ、奇跡が起きて中将姫が宙に浮かんだことで怪我もしなかったとの伝説がある虚空塚と呼ばれる崖を見学。

街中であって、周囲も住宅が立ち並んでいるので、サスペンスのドラマで見ると「いかにも『崖』」の見た目ではないものの、「確かに、ここから落とされたら・・・」と思うような高さはありそうだった。

また、境内には、慶應義塾に縁のある、吉村長慶のお墓(吉村家の菩提寺だそう。)、石仏もあり。

寺社仏閣を拝観して常々感じることはあるけれど、静かに「歴史」を感じる。

🌸🌸🌸 徳融寺前で、皆で写真 第2弾!! 🌸🌸🌸

ハイッ、チーズ。2回目😊



こちらの写真も、1回目同様、平越様お声がけ、通りすがりの方撮影でした👍